

琴海の志 『自律した学校・生徒・職員』

魅力ある学校 「今日が楽しく、明日行くのも楽しみな学校」をめざして

【校訓】

自主・敬愛・健康



文責 久松 雅洋

【県中総体・全九州中総体・平和集会（平和宣言）等について】

【県中総体】令和6年7月21日～23日

- ・バドミントン競技 男子団体、男子個人ダブルスに本校生徒が出場しました。団体・個人ダブルスともに、中総体スローガンの「感謝・マナー・勝負」を胸に刻んで、伝説を巻き起こす熱意をもって全力プレーで健闘しました。部員や家族、友人の応援にしっかりと応え、暑さに負けないプレーを見せました。
- ・陸上競技 男子共通三段跳、男子共通3000m、男子3年1500m、男子共通800m、男子共通4×400mリレー、女子1年1500m、女子3年800m、女子2年800m、3年男子100m、男子低学年100Hに市中総体を勝ち抜いた選手が出場し、こちらも酷暑の中でしたが、全力で走ったり、跳躍したりしました。その中で、男子共通三段跳びと男子共通4×400mリレーで上位入賞を果たし、全九州中総体の出場権を獲得しました。試合後も生き生きとした表情がうかがえました。楽しんでプレーができたのだと感じました。
- ・クラブチームから参加した水泳競技の選手もよく健闘したという報告を受けました。

※詳細結果は、テトルで配信済みですので、再度確認してみてください。

県大会に出場した選手の皆さん、ご家族の皆さん、指導者の皆さん、「たいへんお疲れさまでした。きっと努力は人生の中で必ず生きてくと確信しています。」今後のさらなる活躍を祈念しています。

【全九州中総体】会場・期日 陸上競技 諫早市 8月6日、水泳競技 福岡市 8月4日

- ・陸上競技 男子共通三段跳、男子共通4×400mリレーに出場した選手は、決勝進出を目指してよく健闘しました。クラブチームから水泳競技に出場した選手も、全力で泳ぎ切ったと報告を受けました。この経験を、ぜひ今後の活躍につなげてください。※詳細結果は、テトルで配信済みです。確認してください。

【県民祈りの日について】※平和集会では、時間調整のため校長講話ができませんでしたので、下に記載します。

今日は「県民祈りの日」として長崎県が位置付けている特別な日です。79年前の今日、昭和20年(西暦1945年)の8月9日、11時2分、長崎市浦上の上空で一発の原子爆弾が投下され、地上500メートルで爆発したと記録されています。目も開けられないほどのまばゆい閃光と、耳がつぶれんばかりの轟音、そしてすさまじい熱をもった爆風が、地上にあったありとあらゆるものをなぎ倒し、一瞬にして7万人以上の尊い命が奪われ、また、動物が焼死したり、建物が破壊されたりして、太陽も見えなくなってしまいました。原爆落下中心地を中心に、長崎の町はみるみるうちに地獄のようになってしまいました。なぜ、8月9日を私たち大人は皆さんに語り継ぐのでしょうか。それは、過去のいまわしい出来事を風化させず、皆さんから皆さんの子孫に引き継いでもらい、このような悲惨な出来事が二度と長崎に、広島に、いや全世界に起こらないようにするためです。

集会の中で各学年から、平和への強い思いを胸に、心を込めて発表がなされたと思います。発表者の皆さん、これまでの学習の成果を存分に伝えることができたでしょうか。聞き手の皆さんは、仲間の学びの成果を自分事としてとらえ、真剣に耳を傾けて聞けたでしょうか。皆さんのことですから、「琴海中からの平和の願いをきちんと発信し、認識することができた」と確信しています。」

今回の集会だけではなく、日常の生活から、世界の恒久平和に向けて私たちができることをしっかりと考え、当事者意識をもって行動に移し、安心・安全に過ごせる学級・学年・学校に発展させ、地域社会へ日常の平和を広げていけるような活動をしていきましょう。

【令和6年度 長崎市立琴海中学校 平和宣言】

私たち琴海中学校生徒一同は、平和な世界を築くために、次の5つのことをここに宣言します。

- 一、学び、知り、考え、何が正しいか判断します。
- 一、平和を願う被爆者の想いを、絶やすことなく次の世代に継承します。
- 一、身近な人々に対して、思いやりをもって接します。
- 一、平和都市に生きる生徒として、平和の尊さを発信します。
- 一、仲間と共に、平和を作り出すための一歩を、新たに踏み出すことを誓います。

令和6年8月9日 長崎市立琴海中学校 平和人権実行委員会

【2024年 長崎平和宣言（骨子）】※8月2日に、鈴木長崎市長が平和宣言骨子を発表しました。

※長崎平和宣言は、8月9日の平和祈念式典にて鈴木長崎市長が読み上げますので、ニュースや新聞等にて各自で確認してください。(学校でも別紙で長崎平和宣言のプリントを配付します。)

- ◆被爆者(福田須磨子氏)の詩を用いて、被爆の惨状と被爆者の訴えを発信
- ◆昨今の核兵器をめぐる国際情勢の中で、「核兵器を使ってはならない」という人道上の規範が大きく揺らいでいることに危機感を表明
- ◆核保有国と「核の傘」の下にいる国に指導者の被爆地訪問を呼びかけるとともに、核兵器廃絶に向けてかじを切り、外交努力で平和的解決への道を探るよう要請
- ◆日本政府に「核兵器禁止条約への署名・批准」「憲法の平和理念の堅持」「北東アジアの緊張緩和と軍縮に向けたリーダーシップ」「被爆者援護の充実」「被爆体験者救済を要請」
- ◆地球市民として、さまざまな違いを超えてつながり合えば、思い描く未来を実現できると市民社会に呼びかける。
- ◆原爆犠牲者への追悼と、核兵器廃絶への決意表明(◆部 2024年8月3日付け 長崎新聞から抜粋)

